

科 目 名		学 年	
日本語表現 : Communication in Japanese		1PDK	
教 員 名		薄井信治 : USUI Shinji	
単 位	授 業 時 間	科 目 区 分	授 業 形 態
2	100分×15回	必修	講義・前期
授 業 概 要	実用的な文章の書き方を理論的に説明し、理解させる。アウトラインを作成することで、論理的な記述方式を理解させる。		
到 達 目 標		評 価 方 法	配 分
(1)文と文章の構造を理解できること		期末試験で評価する	40%
(2)アウトラインを作成できること		提出状況で評価する	10%
(3)アウトラインをもとに口頭発表し、討議できること		発表及びレポートで評価する	10%
(3)アウトラインをもとに小論文を作成できること		小論文で評価する	40%
学 習 ・ 教 育 目 標		G①	JABEE基準1(1)
			(f)
授 業 計 画	回	項 目	内 容
	第1	ガイダンス わかりやすい 表現	授業の進め方を理解する。 表現をわかりやすくするには、どうすればよいかを 理解する。
	第2	パラグラフと ピックセンテ ンス	文章の最小単位であるパラグラフを中心にわか りやすい表現にする方法の理解を深める。
	第3	構文図と文	文を構成する言葉のつながりをわかりやすいも のにする方法を理解する。
	第4	バラレリズム	バラレリズムの重要性を理解し、活用する。
	第5	アウトラインの 作り方	インシューツリーとロジックツリーについて理解す る。
	第6	ロジックツリー の作成と発表	討議した後、修正を加えたアウトラインを元に小 論文を作成する。
	第7	〃	討議した後、修正を加えたアウトラインを元に小 論文を作成する。
	第8	〃	討議した後、修正を加えたアウトラインを元に小 論文を作成する。
	第9	ロジックツリー の作成と発表	小論文②のアウトラインをロジックツリーで作 り、口頭発表し、討議する。
	第10	〃	討議した後、修正を加えたアウトラインを元に小 論文を作成する。
	第11	〃	討議した後、修正を加えたアウトラインを元に小 論文を作成する。
	第12	ロジックツリー の作成と発表	小論文③のアウトラインをロジックツリーで作 り、口頭発表し、討議する。
	第13	〃	討議した後、修正を加えたアウトラインを元に小 論文を作成する。
	第14	〃	討議した後、修正を加えたアウトラインを元に小 論文を作成する。
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。授業評価アン ケートを行う。	
自学自習の内容		課題プリント及びアウトラインの提出	
関連科目		国語IV	
教科書			
参考書			
授業評価・理解度		最終回に授業アンケートを行う	
副担当教員			
備考			